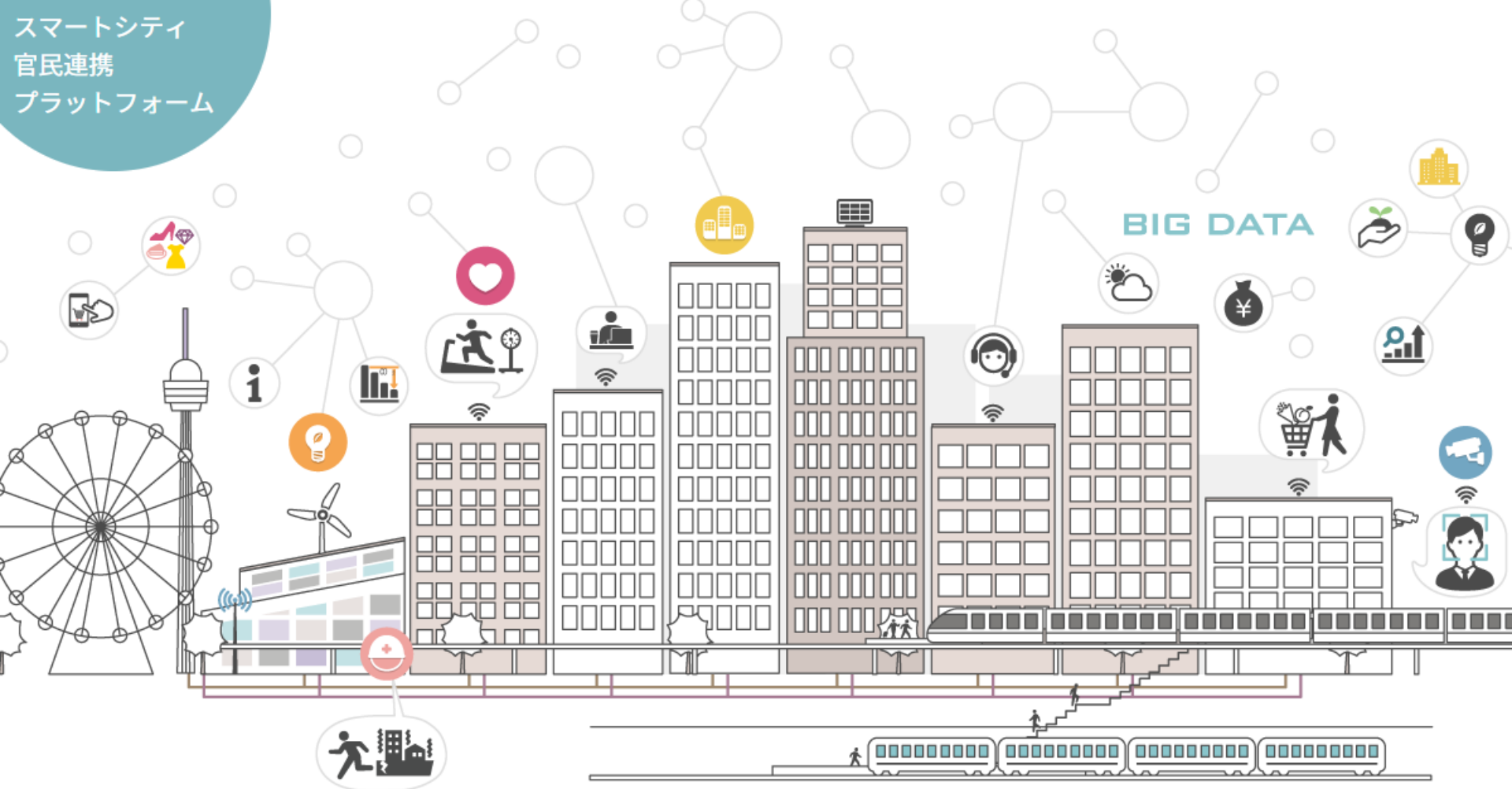
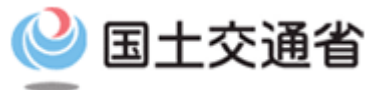


スマートシティ
官民連携
プラットフォーム



第1回 オンラインセミナー

令和4年7月29日(水) 15:00~16:30



デジタル庁
Digital Agency

本日のプログラム

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 15:00~ | 1.挨拶 |
| 15:02~ | 2.本年度のオンラインセミナーの実施方針について |
| 15:07~ | 3.内閣府スマートシティ施策のKPI 設定指針について |
| 15:22~ | 4.計画策定セミナー |
| 16:12~ | 5.質疑応答 |
| 16:27~ | 6.事務局からのお知らせ |
| 16:30~ | 7.閉会 |

【質疑応答について】

質問は**ウェビナーのQ&A機能**にて受け付けますので、積極的にご質問ください。
「5.質疑応答」の時間に、申込時に受領した質問も含めて、まとめて回答いたします。

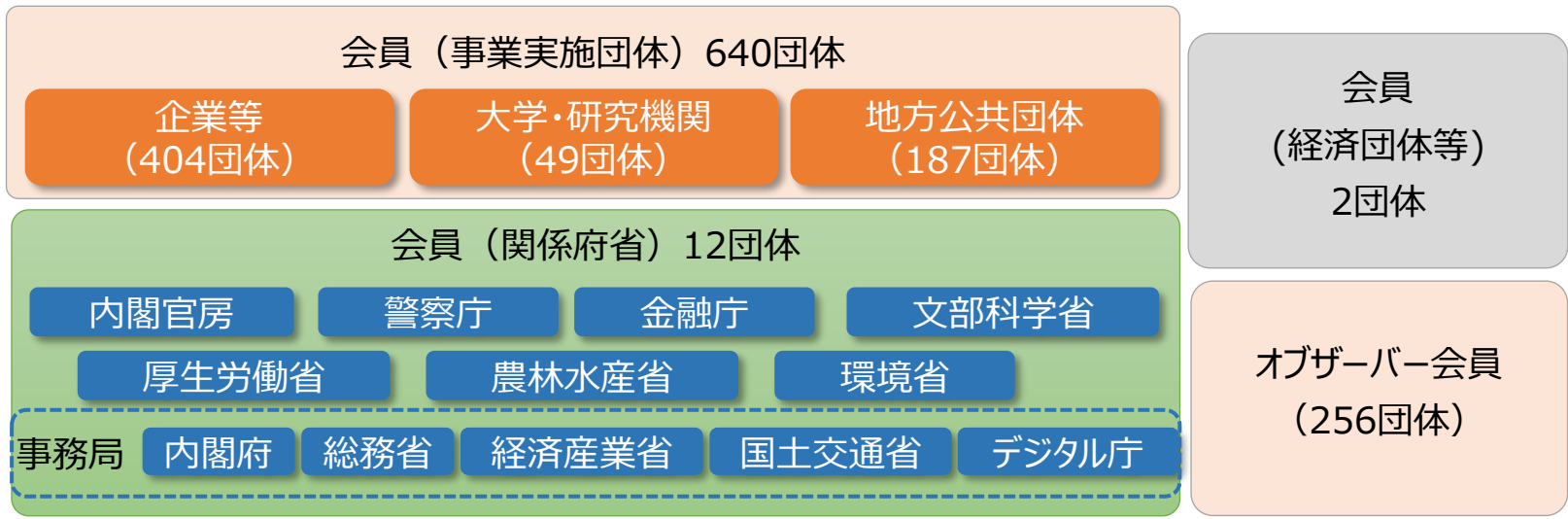
1 挨拶

② 本年度のオンラインセミナーの実施方針について

スマートシティ官民連携プラットフォームの概要

- 官民の知恵やノウハウを結集してスマートシティの取組を加速すべく、企業、地方公共団体、大学、関係府省等を構成員とした官民連携プラットフォームを令和元年 8 月に設立。

スマートシティ官民連携プラットフォームの構成（合計910団体）※令和4年6月末



①事業支援

各府省のスマートシティ関連事業を実施する会員に対して、資金面に加え、ノウハウ面でも各府省が一体となって支援

②分科会

共通する課題を抱える会員相互で課題の解決策等の検討のため分科会を開催（分科会の成果は会員間で共有）

③マッチング支援

解決したい課題を持つ地方公共団体等と、解決策やノウハウを持つ民間事業者等とのマッチングを支援

④普及促進活動

各地におけるスマートシティの取組の普及や、モデル事業で得られた知見等の横展開を図るための活動を実施

令和4年度のオンラインセミナーの実施方針

➤ 令和4年度のオンラインセミナーは、スマートシティの取組プロセスに応じて、幅広い主体に参加していたくことを目的に、全5回のセミナーシリーズのうち、**計画策定セミナー2回、分野別セミナー2回、とりまとめとなる実装セミナー1回**を開催します。

令和4年度オンラインセミナーの全体構成

回数	時期	テーマ	概要
第1回	本日	■ 内閣府スマートシティ施策のKPI 設定指針について ■ 計画策定セミナー①（概要編）	計画策定セミナー スマートシティに関連する計画策定の具体的手法を解説する
第2回	9月下旬	■ 計画策定セミナー②（事例編） ■ その他	
第3回	11月下旬	■ 分野別セミナー①（例：防災分野） ■ その他	分野別セミナー 特定の分野のスマートシティの事例や必要なITの知見を共有するとともに、マッチングを促進する ※対象分野については今後確定
第4回	1月下旬	■ 分野別セミナー②（例：都市計画・整備分野） ■ その他	
第5回	3月上旬	■ 実装に向けた総括セミナー ■ 分科会活動発表 ■ 令和5年度の各府省スマートシティ施策概要 ■ その他	実装セミナー 当該年度のとりまとめとして、調査結果の共有を図る

③ 内閣府スマートシティ施策の KPI設定指針について

スマートシティ施策のKPI設定指針について

令和4年7月29日
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

スマートシティ施策のKPI設定指針の作成の目的

【背景】

- ① 全国各地におけるスマートシティの評価枠組みは、まだ熟度が高まっていない地域が多く、適切な施策評価・改善のサイクルが十分に回せていないと考えられる
- ② 地域によって評価指標が異なるため、都市間比較や国レベルでの進捗把握が困難になっている

評価枠組みの作成方法を具体的に示し、スマートシティ関連施策のPDCA促進、およびEBPM浸透を図りたい

評価指標は、多様な地域課題に応じて柔軟に設定できるようにすべきである一方、可能な範囲で同一指標を導入し、都市間比較や全国把握を可能にしたい

【目的】

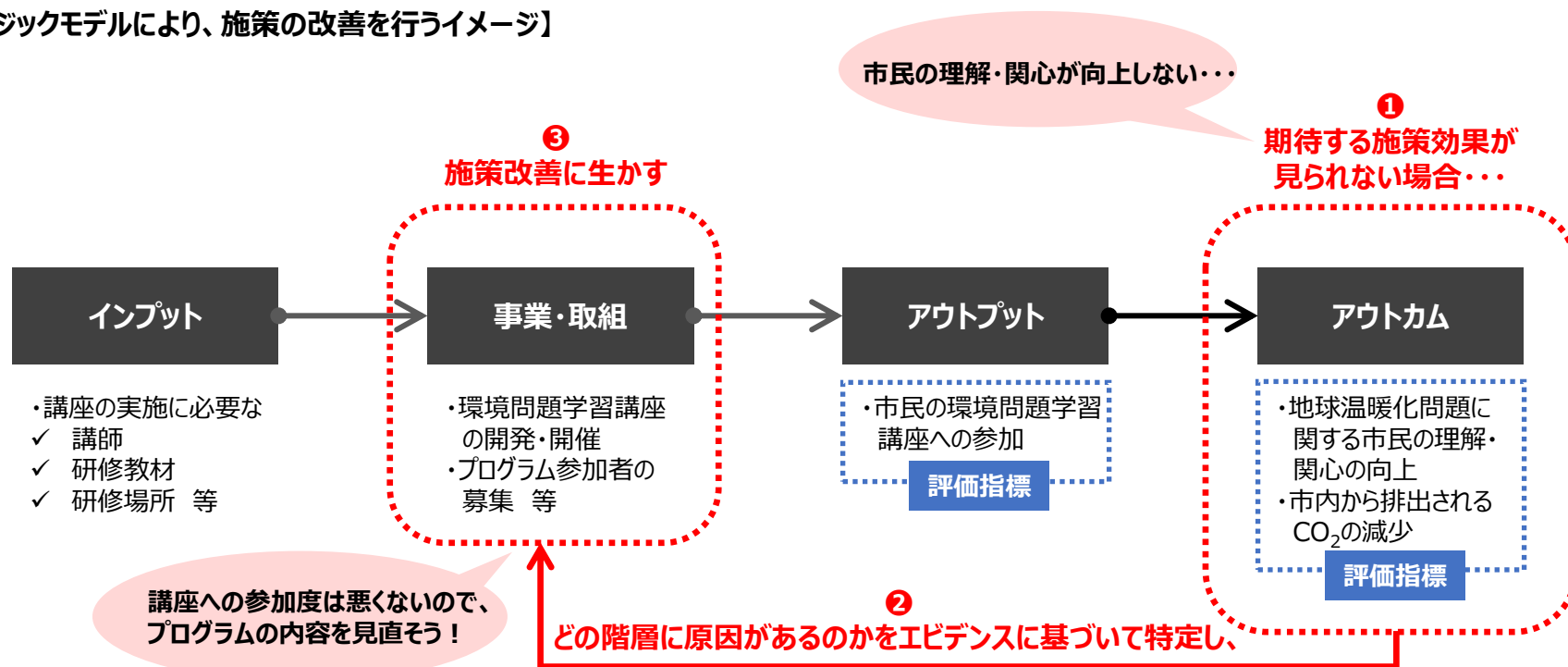
地域（コンソーシアム等）の進める多様なスマートシティ関連施策に対する適切な評価の枠組み・評価指標を示すこと。

また、これを通じて、各地で適切な施策評価および評価に基づいた施策改善を促進すること。

スマートシティ施策の評価の考え方

ロジックモデルとは

【ロジックモデルにより、施策の改善を行うイメージ】



※エビデンス：政策の実施とその効果の間の因果関係を少なくとも一定程度明らかにする定量的な証拠
一部引用：佐藤徹,「エビデンスに基づく自治体政策入門—ロジックモデルの作り方・活かし方」, 公職研, 2021

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）
～別冊「スマートシティ関連施策の評価枠組みに関する全体像」

スマートシティ施策のKPI設定指針の作成（2022年4月）

- 国によるスマートシティ施策の評価枠組み・評価指標の設定、及び、地域（自治体・コンソーシアム等）によるスマートシティ施策の評価枠組み・基幹的評価指標についての検討を実施
- EBPMの方法論に基づくスマートシティの施策を評価の枠組みの構築を目指す

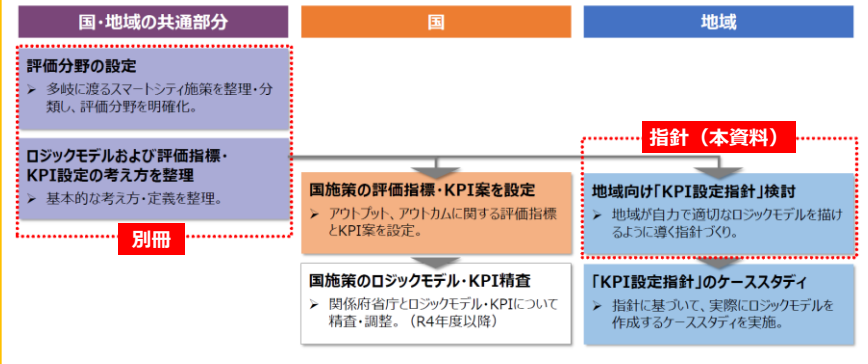
内閣府Webサイトに掲載-> https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/smartcity/index.html

評価指標等の検討体制

スマートシティ評価指標に関する有識者検討会 (2021年10月～2022年2月まで3回開催)

浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科 教授
石田 哲也	東京大学大学院工学系研究科 教授
井上 茂	東京医科大学公衆衛生学 教授
出口 敦	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授<座長>
村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科 教授
森本 章倫	早稲田大学社会環境工学科 教授

(検討事項)



検討成果の概要

地域（コンソ等）施策担当者に向けて

- 地域（コンソ等）に向けた、ロジックモデルの描き方およびKPI設定の指針（案）を作成
- 将来的に、コンソ等が有益な評価指標を検討・設定できる指針となることを目指す

スマートシティ施策のKPI設定指針

設定指針

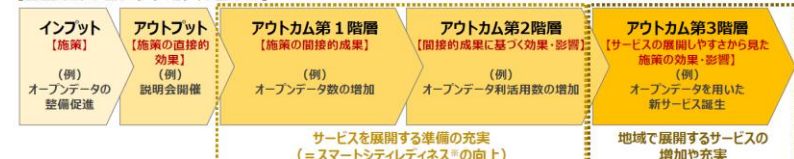
出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）

② ロジックモデルの基本形・全体像

【サービス分野のロジックモデル基本形】※実施前の施策（実証実験等）については、本書p21にて別途説明



【基盤分野のロジックモデル基本形】



※スマートシティレジリエンス（SCR）：各種スマートシティ・サービスの立ち上げや充実化、維持がしやすい環境の整っている程度を表す指標群 15

2. 評価分野の設定

② 評価分野の設定

- ✓ 下表の通り評価分野を設定（分野横断型を追加）
- ✓ 施策テーマは「改革工程表2020」、「スマートシティレファレンスアーキテクチャ」及び国によるICT関連施策等を参照し設定

大分類	評価分野	施策テーマ
サービス	モビリティ	交通／モビリティ、物流、交通拠点
	環境／エネルギー	環境、エネルギー、水資源、廃棄物
	防災／防犯	防災、防犯
	インフラ／施設	インフラ維持管理、都市計画・整備、施設マネジメント、住宅、建設、不動産
	健康／医療	健康、医療、介護
	産業／経済	農林水産業、観光、地域経済活性化、産業創出、産学連携、デジタル通貨・決済、働き方
	地域社会	地域コミュニティ形成、地域自治、社会活動
	教育／文化	教育、子育て、文化・アート
	行政	e-サービス、デジタル運営、セキュリティ
基盤	IT基盤	都市OS、データ連携基盤、デジタル通信網、オープンデータ、3D都市モデル、データガバナンス、アクセシビリティ
	運営体制	官民連携、住民参画、運営のオープン性・透明性、マネタイズ
	人材	スマートシティ人材育成・活用、リテラシー／デジタルデバインド対策
その他	分野横断型	上記の評価分野を横断する施策（例：新技術の社会実装支援事業で複数の評価分野に跨る施策など）

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）
～別冊「スマートシティ関連施策の評価枠組みに関する全体像」

スマートシティ施策の評価指標・KPIの検討（サービス分野）

▶ サービス分野と基盤分野それぞれのKPIの設定に関する考え方を紹介します。

【サービス分野のKPI設定の考え方】

区分	インプット	事業・取組	アウトプット	アウトカム 第1階層	アウトカム 第2階層	アウトカム 第3階層
ロジック モデル定義	一連の活動実施に必要な投入資源	実施する具体的取組群(事業)	各取組が実施されたことを示す事実	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象	事業開始後に期待される、社会・経済・環境の変化（施策目的に準ずる）	最終的に実現を目指す都市の状態
KPI定義と 考え方			事業のアウトプットを確認 ✓ 事業実施の事実を確認でき、容易に入手できるデータ ✓ 常時取得できる数値が望ましい	アウトカム第1階層をモニタリングし、事業からアウトカムの発生有無を確認 ✓ 各種取組の間接的成果を定量的に測定できる指標 ✓ 短いスパン(3~6ヶ月)で変化がみえる数値を継続取得	アウトカム第2階層をモニタリングし、事業が期待する効果・変化の有無を確認 ✓ 事業の実効性を定量的に測る指標 ✓ 短いスパン(3~6ヶ月)あるいは1年程のスパンで変化がみえる数値を継続取得	スマートシティ単位でスマートシティの総合評価を行い、施策の実施効果を評価（スマートシティ総合評価指標） ✓ 政府統計等を積極的に活用 ✓ 1年程のスパンで変化がみえる数値を継続取得
施策の評価 プロセス (PDCA) における KPIの 使い方	Plan・Do Action		Check①	Check② 事業の取組内容の軌道修正	Check③ 施策自体の見直し・改善 (目的の再設定、投入資源の調整、取組継続の判断)	Check④ 施策体系の見直し (分野間の偏りの是正等) 評価体系の見直し (指標の妥当性、代替指標検討等)

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）

スマートシティ施策の評価指標・KPIの検討（基盤分野）

▶ サービス分野と基盤分野それぞれのKPIの設定に関する考え方を紹介します。

【基盤分野のKPI設定の考え方】

※スマートシティレディネス（SCR）：各種サービスの立ち上げや充実化、維持がしやすい環境の整っている程度を表す指標群

区分	インプット	事業・取組	アウトプット	アウトカム 第1階層	アウトカム 第2階層	アウトカム 第3階層
ロジック モデル定義	一連の活動実施に必要な投入資源	実施する具体的取組群(事業)	各取組が実施されたことを示す事実	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象	事業開始後に期待される効果・影響（SCRの実効性）	スマートシティが備える基盤の準備・活用状況
KPI定義と 考え方			事業のアウトプットを確認 ✓ 事業実施の事実を確認でき、容易に入手できるデータ ✓ 常時取得できる数値が望ましい	アウトカム第1階層をモニタリングし、事業からアウトカムの発生有無を確認 ✓ SCサービスの立ち上げ・充実化・維持を容易にする重要な要素 ✓ 短いスパン(3～6ヶ月)で変化がみえる数値を継続取得	アウトカム第2階層をモニタリングし、事業が期待する効果・変化の有無を確認 ✓ 事業の実効性を定量的に測る指標 ✓ 短いスパン(3～6ヶ月)あるいは1年程のスパンで変化がみえる数値を継続取得	スマートシティ単位でスマートシティの基盤の準備状況を把握 ✓ 政府統計等を積極的に活用 ✓ 1年程のスパンで変化がみえる数値を継続取得
施策の評価 プロセス (PDCA) における KPIの 使い方	Plan・Do Action		Check①	数ヶ月～1年に一度 Check② 事業の取組内容の軌道修正	数ヶ月～1年に一度 Check③ 施策自体の見直し・改善 (目的の再設定、投入資源の調整、取組継続の判断)	2～3年に一度 Check④ 施策体系の見直し (分野間の偏りの是正等) 評価体系の見直し (指標の妥当性、代替指標検討等)

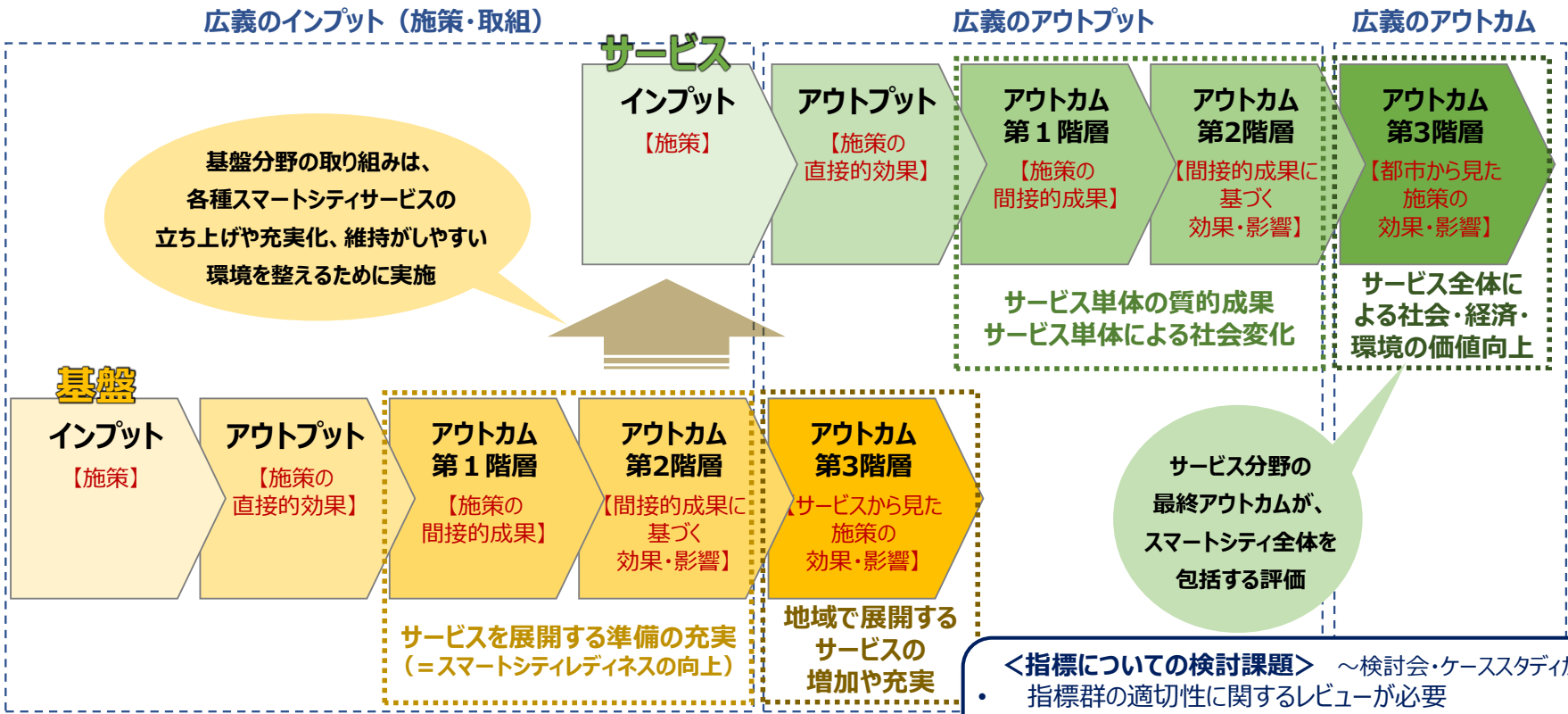
出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）

3. ロジックモデルの考え方の整理

② ロジックモデルの基本形・全体像

【ロジックモデルの全体像】

※スマートシティレディネス（SCR）：各種サービスの立ち上げや充実化、維持がしやすい環境の整っている程度を表す指標群



＜指標についての検討課題＞ ～検討会・ケーススタディから

- 指標群の適切性に関するレビューが必要
- 先行地域での実践を踏まえた指標群の適切性の議論
- 実証／実装段階、地域の多様性を考慮した指標選択

⇒ 地域・事業の状況に応じた指標の選択が必要

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）
～別冊「スマートシティ関連施策の評価枠組みに関する全体像」

評価指標・KPIの設定例（サービス分野／アウトカム第2階層）

【サービス分野】アウトカム第2階層

・ 地域の状況・事業の分野に応じた指標の選択が必要

評価分野	施策テーマ	施策テーマの具体例	アウトカム第2階層 評価指標		
			社会	経済	環境
モビリティ	交通・モビリティ	- MaaSアプリ/サービス - オンデマンド交通 - 自動運転	- 安心・安全性 - 利便性(利用者、運営者)	- 運行効率性 - 採算性 - 乗車率	- 自動車利用率 - 公共交通利用率 - CO2排出量

評価分野	施策テーマ	施策テーマの具体例	アウトカム第2階層 評価指標		
			社会	経済	環境
環境／エネルギー	エネルギー	- AEM - スマートエネルギー - 水素エネルギー - 災害時のエネルギー確保 - エネルギーの地産地消 等	- 住民・産業が賄うコスト - 快適性 - 生活の質	- エネルギー活用の効率性 - 地域活性化 - エネルギー供給への参画率 - 非常時のエネルギー供給率 - 送電ロス率 - 系統負荷の軽減率	- 一次エネルギーの削減率 - CO2排出量
	環境	(未検討)			

評価分野	施策テーマ	施策テーマの具体例	アウトカム第2階層 評価指標		
			社会	経済	環境
産業／経済	観光・地域活性化	- 情報提供 - 交通分野との連携(MaaS, 交通インフラ, グリーンスローモビリティ等) - データ活用 - コンテンツづくり - 決済 - 地域通貨 - インバウンド 等	(来街者・国内観光客・海外観光客・就業者・住民にとっての)サービスの有用性・利便性	- 回遊性・周遊性 - 賑わい - 滞在時間 - 交流人口 - 来街者人口 - 観光産業売上 - 費用対効果	公共交通利用率
	産業・事業創出	- 地域産業へのロボット・ドローン・AI導入 - 先端産業の育成 - 地域産業活性化拠点形成 - データ提供・活用 等	導入技術のユーザビリティ	- 生産性向上 - 物流効率化 - 新産業創出数 - 地域活性化 - データの地産地消	CO2排出量

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）

評価指標・KPIの設定例（サービス分野／アウトカム第3階層、基盤分野）

【サービス分野】アウトカム第3階層

【社会】 評価指標名	
住宅価格	世帯収入に対する総家賃の中央値（割合）
住環境	過密状態（居住者1人あたりの部屋数） 住居水準充実度（1住宅あたり延べ床面積）
人口・寿命	人口増減率 出生時の平均余命（年）
治安	防犯性（刑法犯認知件数／補正人口）
交通安全	交通関連の死亡率（10万人あたりの死亡） 交通安全性（交通事故発生件数／補正人口）
災害対応	災害対応度 （二次医療圏内の災害拠点病院数／二次医療圏域人口）
公共交通	公共交通ネットワークのパフォーマンス （アクセシビリティとアメニティ・人への近接率）

教育水準	高等教育以上の学歴割合（％） 教育、雇用、訓練割合（％） 学士以上の学位を保有サービス充実
福祉水準	高齢者サービス充実度 （介護老人福祉施設）
医療水準	アクティブな医師の医療サービス充実
労働環境	職場までの平均通勤時間
行政の健全性	投票率 （前回の全国選挙）

・ 地域の状況・事業の分野に応じた指標の選択が必要

【環境】 評価指標名		【経済】 評価指標名	
CO2	産業部門のエネルギー起源CO2排出量 民生家庭部門のエネルギー起源CO2排出量 民生業務部門のエネルギー起源CO2排出量 運輸部門のエネルギー起源CO2排出量 エネルギー起源以外のCO2排出量 （廃棄物分野その他） CO2排出量（年間トン/人） 発電あたりのCO2排出量 （GW時間あたりのCO2換算トン数）	雇用	雇用率（％） 失業率（16歳以上の人口割合）
		収入	世帯収入の中央値（米ドル/年）
		格差	就業率の男女格差（男女別の比率） 雇用率の移民ギャップ（ネイティブ-外国別の比率） 可処分所得のジニ係数（税金と振替後）（0から1） 上五分位と下五分位の平均可処分所得の比率
		貧困率	貧困または社会的排除のリスクがある障害のある人口（％）
大気	100人当たりの自動車の数	産業力	中小企業の破産（％） 1人当たりGRP相当額
廃棄物	都市ごみ率（一人当たりキログラム） 都市内の固形廃棄物（年間金額/人） リサイクルされる都市ごみ（％）		

		アウトカム第1階層		アウトカム第2階層		アウトカム第3階層	
IT基盤	データ	ODカタログへのアクセス数		ODを活用した研究や利活用事例の数	スマートシティの サービス提供基盤の 機能発揮		
		ODの量					
		データ標準使用のOD					
	データ連携	データ連携		利活用事例の数			
	都市OS	都市OSの横連携					
	データガバナンス	ガイドライン・指針への準拠		信頼性 事故件数			
	アセット/ネットワーク	質の高いネットワークの実効速度		ネットワーク満足度			
	アクセシビリティ	アクセシビリティ自己評価		アクセシビリティ デジタルデバйд			
デジタル支援の量・質							
運営体制	公民学連携の推進	公民学連携に参画する機関数		公民学連携体制の継続 (産学官連携事例数)			
	住民参画の推進	スマートシティ運営組織に付随・連携するCivicTechやリビングラボ等住民参画支援組織の数		住民参画支援組織の活動継続年数			
	運営資金	運営資金		-			
人材	先導・運営人材	教育プログラム修了生数	スキルあるSC運営従事者数 インシデント数 SC担当者ポストの数				
	IT・セキュリティ人材						
	人材活用	スキルある人材活用の成果					

出典：「スマートシティ施策のKPI設定指針」（内閣府）

評価指標設定指針の活用と期待される効果

● 評価指標設定指針の活用（今後の予定）

第1ステップ (R4年度～)	- スマートシティ事業・デジ田交付金事業のKPI設定の際に参考として活用 ✓ 指針（当初版）により、先行する取り組みでのケーススタディを実施
第2ステップ (R5年度以降)	- ケーススタディからのフィードバックにより、指針の課題を整理、指標設定・活用例を収集 ✓ アップデートした指針により、スマートシティ事業等での活用を拡大、ガイドブック・アーキテクチャ等への反映を通じ、さらに浸透を図る

● 指標設定の取組により期待される効果

想定される反応	当面の対応と取組	期待される効果と課題
「どの指標が使えるのか？」 「どんなデータがあるのか？」	「まずはデータに触れてみる」 （現状把握） … KPI・データ取得の効率化の手法・仕組みの検討	→住民理解（課題共有・見える化のためのコミュニケーションツール）
「難しい…」	「PDCAに慣れている人との協力」 （共同作業） … 評価・ロジックモデル（EBPM）に明るい人材の育成	→企画部門と事業部門との連携 （横断体制構築のきっかけ）
「どこからやればよいのか…」 「どんなメリットがあるのか？」	「アウトプット（進捗）＋アウトカム（効果）」に注目（複眼的視点） … EBPM推進の取組や波及効果の好事例の横展開	→ゴール、ビジョンの共有 （トップ層と担当者の疎通） →様々な行政計画にも共通の視点（都市・地域施策の全体の視点）

進

④ 計画策定セミナー

計画策定セミナーの概要

- 令和4年度のスマートシティ官民連携プラットフォーム オンラインセミナーの第1回と第2回では、スマートシティの進め方やスマートシティの計画（戦略）策定についてご紹介する計画策定セミナーを実施します。
- 第1回目は、概要編として、スマートシティの進め方の全体像や、スマートシティ計画（戦略）の策定段階における取組について概説します。
- 第2回目は、事例編として、スマートシティ計画（戦略）策定済みの自治体担当者をお招きし、事例紹介等を行っていただく予定です。

計画策定セミナーのプログラム案

回	プログラム	内容
第1回： 計画策定セミナー① （概要編）	1. スマートシティの進め方	✓ スマートシティガイドブックの内容を踏まえ、スマートシティの進め方の全体像と、「計画（戦略）策定段階」の取組内容について概説する
	2. スマートシティ計画（戦略）とは	✓ スマートシティ計画（戦略）とはどのようなものであるか、作成事例を紹介しつつ、その内容等について概説する
	3. スマートシティ計画（戦略）作成上のポイント	✓ スマートシティ計画（戦略）に掲載されることの多い項目について、その内容イメージや、検討にあたってのポイント等について概説する
第2回： 計画策定セミナー② （事例編）	1. 概要編の振り返り	✓ 概要編を簡単に振り返り、続く「2.スマートシティ計画（戦略）の策定事例」の導入を行う
	2. スマートシティ計画（戦略）の策定事例	✓ すでにスマートシティ計画（戦略）を策定している自治体担当者（2-3団体を想定）に登壇いただき、計画（戦略）の概要や策定にあたっての工夫点・苦労点等について説明いただく ✓ 事例紹介後、パネルディスカッション形式でより実務的な内容について話題を共有する

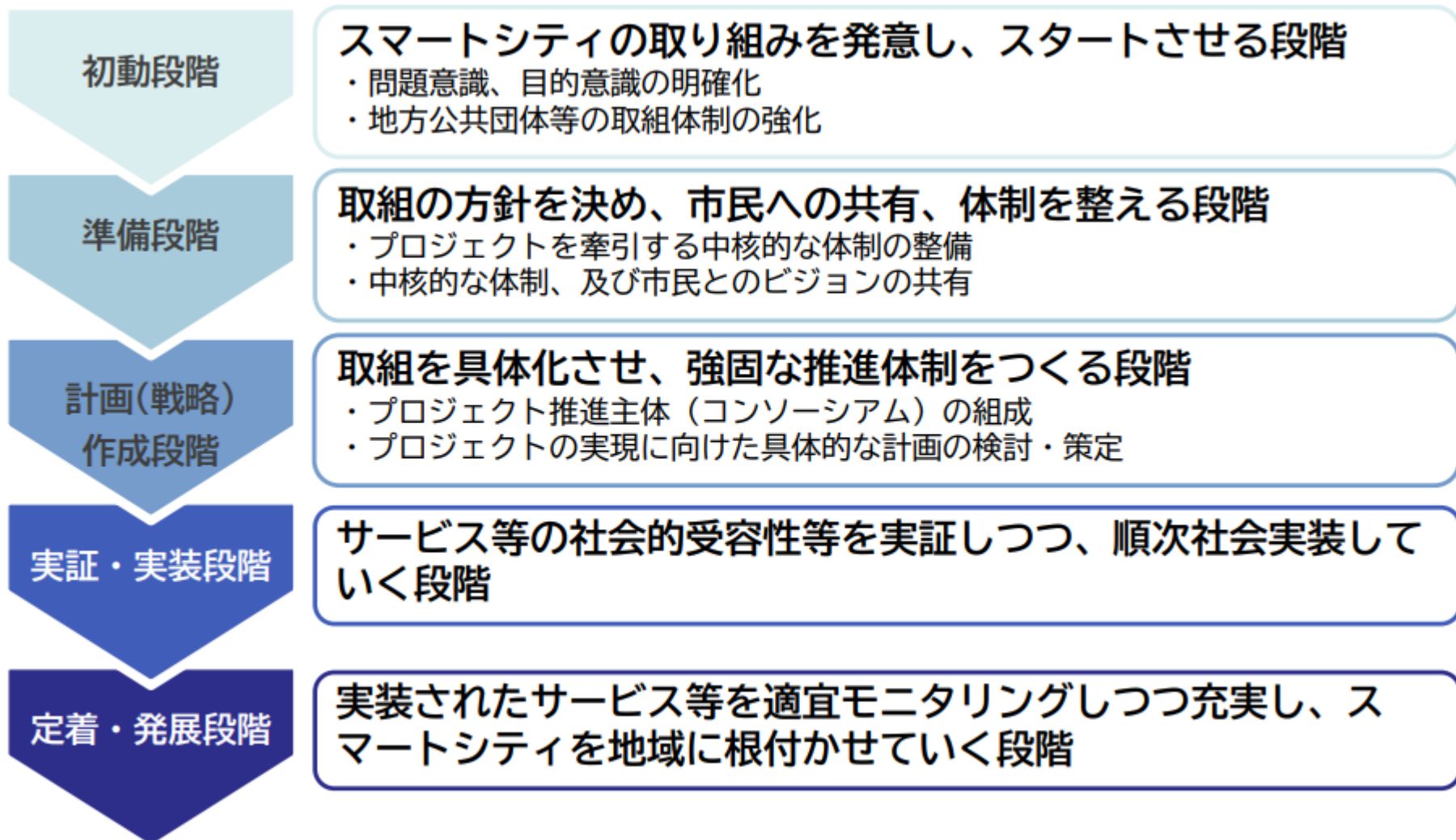
1.スマートシティの進め方

1.スマートシティの進め方

(1) スマートシティの進め方

- スマートシティの推進にあたっては、①初動段階、②準備段階、③計画（戦略）作成段階、④実証・実装段階、⑤定着・発展段階、の5つのプロセスがあるとされています。

スマートシティの進め方

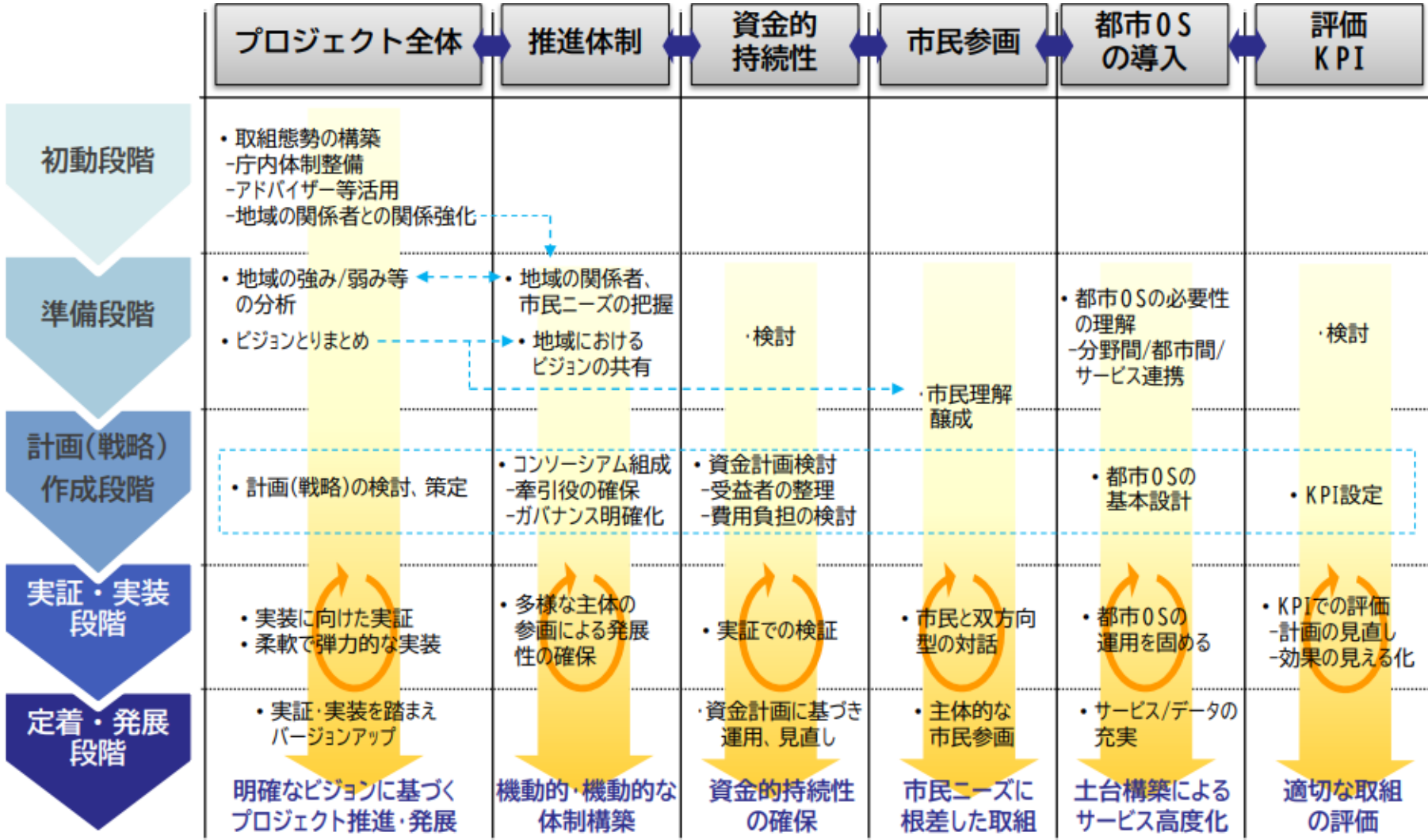


1.スマートシティの進め方

(2) 全体見取り図

- 前頁で見たスマートシティ推進にあたっての各プロセスごとに、プロジェクト全体の推進とあわせ、①推進体制、②資金的持続性、③市民参画、④都市OSの導入、⑤評価KPI、の各論点について検討していくことが求められます。

スマートシティの実現に向けて～全体見取り図～



出所：『スマートシティガイドブック』をもとに作成

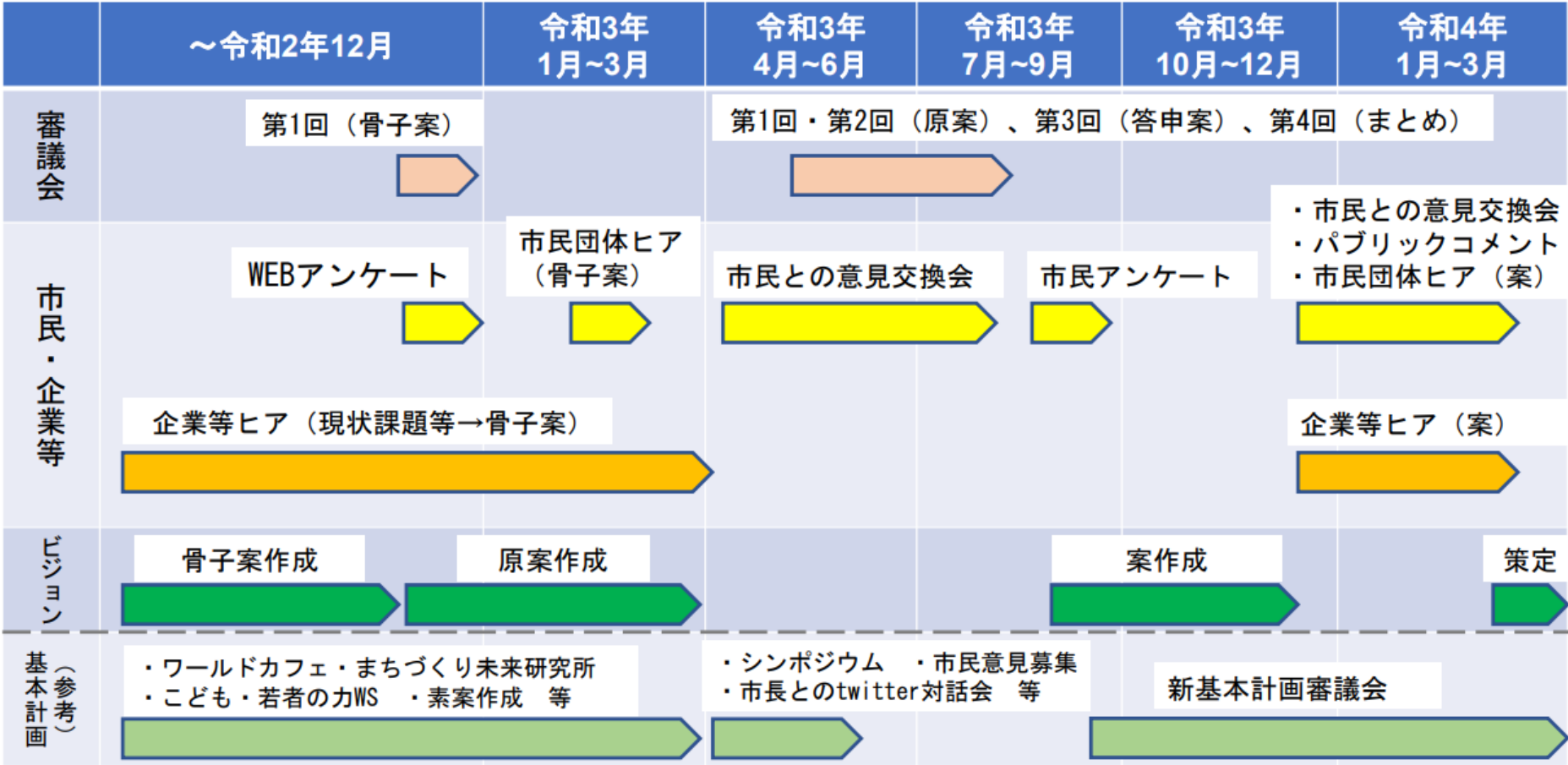
1.スマートシティの進め方

(3) 計画（戦略）作成段階の進め方イメージ（1/2）

- スマートシティ計画（戦略）の作成の一般的な進め方として、庁内横断的な検討組織を立ち上げ内部的な検討・合意形成を行いつつ、地域の関係者等が参画するスマートシティ推進主体の立ち上げ・運営を並行して行い、最終的にパブリックコメント等を経る流れが考えられます。

計画（戦略）作成段階の進め方イメージ ①千葉県千葉市の例

- ✓ 千葉市では、新基本計画（総合計画）の審議会にスマートシティ部会を設け、有識者を交えながらその内容について検討を進めています。
- ✓ 市民・企業等の声を取り入れ、市民との意見交換会等を経ながらビジョンの策定を行っています。



出所：『（仮称）千葉市スマートシティ推進ビジョン策定方針』をもとに作成

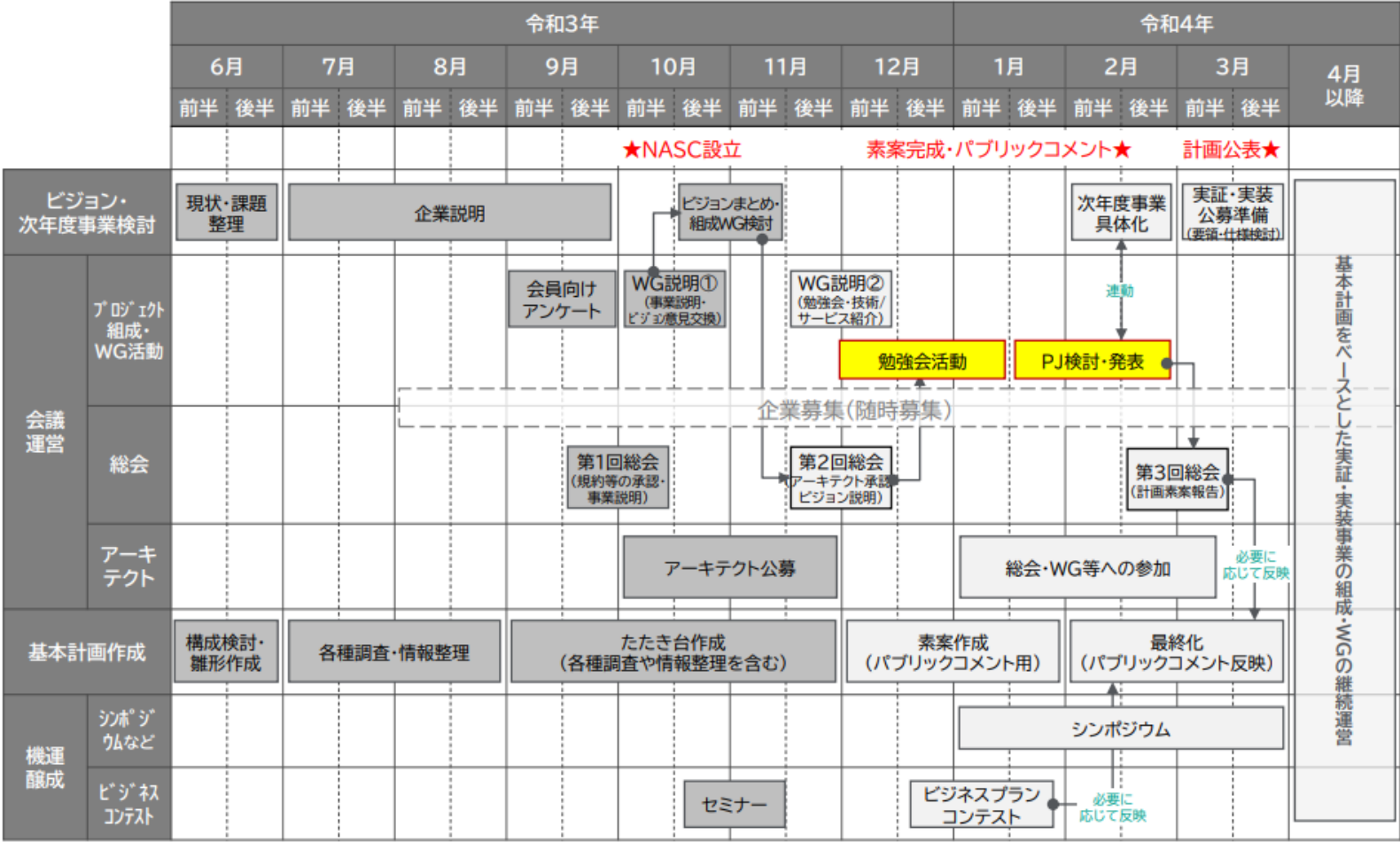
1.スマートシティの進め方

(3) 計画（戦略）作成段階の進め方イメージ（2/2）

- スマートシティ計画（戦略）の作成の一般的な進め方として、庁内横断的な検討組織を立ち上げ内部的な検討・合意形成を行いつつ、地域の関係者等が参画するスマートシティ推進主体の立ち上げ・運営を並行して行い、最終的にパブリックコメント等を経る流れが考えられます。

計画（戦略）作成段階の進め方イメージ ②長野県長野市の例

- ✓ 長野市では、計画策定にあたり、NAGANOスマートシティコミッション（NASC）を立ち上げ、地域関係者等と連携して検討を進めています。
- ✓ 総会とあわせてワーキンググループ（WG）を開催し、具体的な内容についての検討を深めています。



出所：『NASC 令和3年度第2回総会 会議資料』をもとに作成

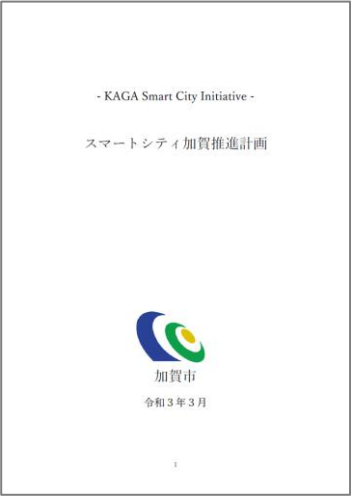
2.スマートシティ計画(戦略)とは

2.スマートシティ計画(戦略)とは

(1) 策定が進む自治体のスマートシティ計画（戦略）

- スマートシティに取り組む自治体では、その取組の方向性について取りまとめた「スマートシティ計画（戦略）」の策定が進んでいます。

自治体のスマートシティ計画（戦略）



and more...



and more...

2.スマートシティ計画(戦略)とは

(2) スマートシティ計画（戦略）の構成イメージ

- 計画（戦略）の構成は自治体により様々ですが、公表事例では、①策定の趣旨・位置づけ、②（XX市の）現状・課題、③基本方針、④推進体制、⑤個別施策、⑥ロードマップ、⑦情報セキュリティ・個人情報保護の考え方、⑧用語集、といった項目が多く見られます。

スマートシティ計画（戦略）の構成イメージと各項目の概要

構成イメージ	概要
XX市 スマートシティ推進計画 1. 策定の趣旨・位置づけ 2. （XX市の）現状・課題 3. 基本方針 4. 推進体制 5. 個別施策（具体的な取組） 6. ロードマップ 7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方 8. 用語集	✓ スマートシティ計画（戦略）の策定に至った背景や狙い、計画の位置づけ（総合計画等との関係）等について記載する ✓ 住民等の課題解決の手段としてスマートシティに取り組むことから、住民生活等に関する現状・課題について記載する ✓ スマートシティ推進にあたり重視すべき考え方（理念等）、コンセプト、計画期間等について記載する ✓ 定量的な目標設定を行う場合、指標・目標値を記載する ✓ スマートシティは、庁内・外ともに多数の関係者が参画し推進されるものであるため、推進体制について記載する ✓ 現状・課題を踏まえ、分野ごとの具体的な取組内容や方向性について記載する ✓ 計画期間中に具体的にに取り組む事項について、ロードマップとして記載する ✓ スマートシティ推進にあたり様々なデータを取り扱うことから、情報セキュリティや個人情報保護の考え方について記載する ✓ 前提知識のない者であってもその内容を理解できるよう、用語集を作成する

注：上記はあくまで公表ベースの自治体のスマートシティ計画（戦略）をもとに構成イメージとして示すものであり、策定にあたっては、個々の自治体の状況にあわせて構成・内容を検討ください

2.スマートシティ計画(戦略)とは

(3) スマートシティ計画（戦略）の事例紹介（1/3）

- スマートシティに取り組む自治体の多くが、独自のスマートシティ計画（戦略）を作成・公表しています。
- ここでは、具体的なイメージを共有するために、千葉県千葉市と、静岡県沼津市の事例を紹介します。

スマートシティ計画（戦略）の事例紹介 ①千葉県千葉市 ②静岡県沼津市

名称	千葉市スマートシティ推進ビジョン
計画期間	20年後を見据えての10年程度を対象 ※ 国の政策の方針や先端技術などの動向を踏まえ、5年程度を目安に見直す。
参考URL	https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/smartcity/documents/smartcity_vision.pdf



名称	X-Tech NUMAZU VISION Smart City Numazu Promotion Guideline Version 1.0
計画期間	5年 ※ 2026年度以降は総合計画後期推進計画に基づくまちづくりの各種施策と住民ニーズを踏まえ、新たなサービス展開を検討する。
参考URL	https://sites.google.com/view/xnlounge/x-tech-numazu%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3



2.スマートシティ計画(戦略)とは

(3) スマートシティ計画（戦略）の事例紹介（2/3）

- 『千葉市スマートシティ推進ビジョン』は、資料編を含めて全26ページとコンパクトな作りであり、イラスト等を用い親しみやすい形式としています。
- 別途、「千葉市スマートシティプロジェクト2022」を作成し、毎年度これを更新することで、年度ごとの具体的な取組を示しています。

スマートシティ計画（戦略）の事例 ①千葉県千葉市



千葉市スマートシティ推進ビジョン

ビジョンの構成

1	策定趣旨	3
2	位置付け・期間	4
3	基本的な考え方	5
	(1) 千葉市が目指すスマートシティ	
	(2) スマートシティ実現のための原則と重視する視点	
4	取組みの方向性～5つのスマート！～	9
	〔暮らし・ビジネス・学び・まち・市役所〕	
5	推進体制・推進手法	15
6	ロードマップ	18
資料1	千葉市の現状・特徴	19
資料2	策定の背景	20
	(1) 千葉市を取り巻く重要な社会変化	(2) これまでの主な取組み
	(3) テクノロジーの進展	(4) 国の動向



2

2.スマートシティ計画(戦略)とは

(3) スマートシティ計画（戦略）の事例紹介（3/3）

- 『X-Tech NUMAZU VISION』は、作成時点で想定される具体的な内容を可能な限り反映したものとなっています。
- 分野ごとに目指す姿を示し、提供サービスとデータ連携図、サービス提供スケジュール等を明示している点が特徴的です。

スマートシティ計画（戦略）の事例 ②静岡県沼津市

CONTENTS	X-Tech NUMAZUビジョン 002 Chapter.01 ビジョン策定の趣旨・位置付け 1-1 策定の趣旨 1-2 位置付け 005 Chapter.02 ビジョン策定の背景 2-1 沼津市の概況と特性 2-2 時代の潮流 2-3 主要課題 009 Chapter.03 基本方針 3-1 将来像 3-2 基本コンセプト 3-3 重点分野 013 Chapter.04 推進体制／推進手法 4-1 推進体制 4-2 推進手法 017 Chapter.05 体系図／ロードマップ 5-1 体系図 5-2 イメージ図 5-3 ロードマップ 021 Chapter.06 施策の関連 6-1 第5次沼津市総合計画との関連 6-2 SDGsとの関連 024 Chapter.07 重点分野の取組の方向性 7-1 情報の一元化 7-2 モビリティ 7-3 環境・エネルギー 7-4 教育・子育て 7-5 健康・福祉 7-6 産業 7-7 安全・安心 051 Chapter.08 資料
---------------------	--

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(0) スマートシティ計画（戦略）の構成イメージ（再掲）

- ここから、「2.スマートシティ計画(戦略)とは」で示した構成イメージの各項目に沿って、具体的な事例と作成上のポイントについて解説します。

スマートシティ計画（戦略）の構成イメージと各項目の概要（再掲）

構成イメージ	概要
XX市 スマートシティ推進計画 1. 策定の趣旨・位置づけ 2. (XX市の) 現状・課題 3. 基本方針 4. 推進体制 5. 個別施策（具体的な取組） 6. ロードマップ 7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方 8. 用語集	✓ スマートシティ計画（戦略）の策定に至った背景や狙い、計画の位置づけ（総合計画等との関係）等について記載する ✓ 住民等の課題解決の手段としてスマートシティに取り組むことから、住民生活等に関する現状・課題について記載する ✓ スマートシティ推進にあたり重視すべき考え方（理念等）、コンセプト、計画期間等について記載する ✓ 定量的な目標設定を行う場合、指標・目標値を記載する ✓ スマートシティは、庁内・外ともに多数の関係者が参画し推進されるものであるため、推進体制について記載する ✓ 現状・課題を踏まえ、分野ごとの具体的な取組内容や方向性について記載する ✓ 計画期間中に具体的に取り組む事項について、ロードマップとして記載する ✓ スマートシティ推進にあたり様々なデータを取り扱うことから、情報セキュリティや個人情報保護の考え方について記載する ✓ 前提知識のない者であってもその内容を理解できるよう、用語集を作成する

注：上記はあくまで公表ベースの自治体のスマートシティ計画（戦略）をもとに構成イメージとして示すものであり、策定にあたっては、個々の自治体の状況にあわせて構成・内容を検討ください

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(1) ポイント①策定の趣旨・位置づけ (1/2)

- 「策定の趣旨」を記載する際は、なぜスマートシティ計画（戦略）を必要とするのか、その背景・趣旨が明確になるようにします。
- 「位置づけ」を記載する際は、関連する国等の各種方針・計画や、当該自治体の各種計画との関係が明確になるようにします。

静岡県浜松市の事例							
1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集

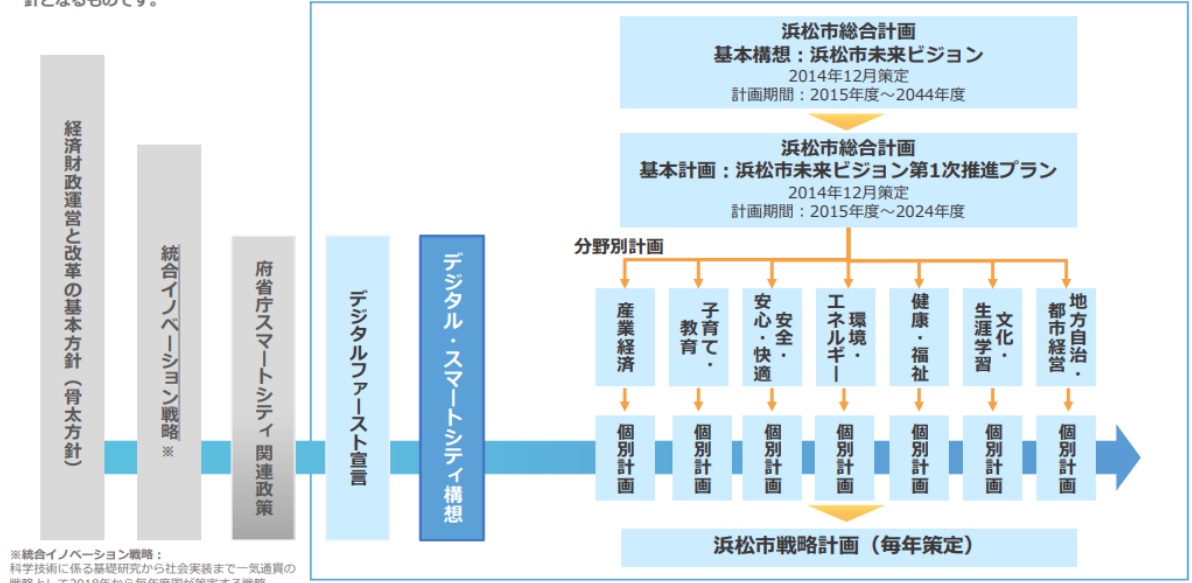
Ⅱ 構想策定の趣旨／構想の位置付け

■ 構想策定の趣旨

「浜松市デジタルファースト宣言」に基づき、都市づくりをデジタルファーストで進めるデジタル・スマートシティ政策の指針として策定し、多くの方々と共有し、官民共創で“デジタル・スマートシティ浜松”の実現を目指します。

■ 構想の位置付け

「浜松市デジタル・スマートシティ構想」は、本市の最上位計画である総合計画に基づく個別計画であるとともに、デジタル活用の観点から分野横断的な取組の指針となるものです。



作成上のポイント

- なぜスマートシティ計画（戦略）を策定するに至ったのか、その背景・趣旨を明確にしている
- スマートシティ計画（戦略）が、国等が公表している方針・計画や、当該自治体の上位計画（総合計画等）、個別計画とどのように関係しているかを明示している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(2) ポイント② (XX市の) 現状・課題 (2/2)

- スマートシティの取組が求められる理由が明確になるよう、地域特有の現状や課題を整理します。
- 課題を網羅的に挙げるケースと、スマートシティで取り組みたい分野にフォーカスして挙げるケースが見られます。

東京都渋谷区の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策 (具体的な取組)	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	------------------	-----------	------------------------	--------

渋谷区の現状 チャレンジ・課題

多様性による強みを持ちつつも、多様な人々が暮らし・訪れる都市として、解決すべき都市課題もあります。このような都市課題の解決を図りつつ、人々の生活の質の向上を図っていくことが渋谷区における今後のチャレンジだといえます。

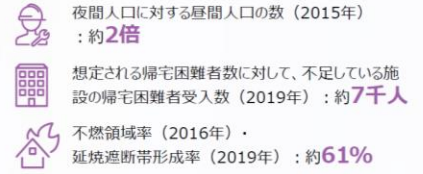
生産年齢人口減少に対処する体力確保

- ・ 生産年齢人口の減少と高齢化が進むことが想定される中、限られた人材を有効活用し、協力し合える体制・仕組み作りが求められる。



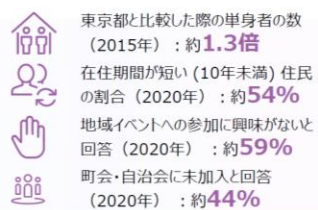
有事の際のレジリエンス確保

- ・ 有事の対策として、昼間人口が多いエリアにおける帰宅困難者を受け入れる施設の確保や、居住エリアを中心とした町全体の災害を防ぐ取り組み等、より安全なまちづくりが求められる。



地域のつながり・コミュニティ機能の強化

- ・ 単身で、在住期間の短い流動的な住民が多く、地域イベント等への関心も低い。地域コミュニティ等を通じた共助のネットワーク形成が必要。



より魅力的な文化・エンタメの追求

- ・ 既存の景観・リソースを活かした文化・交流イベントの機会を質と量の双方で創出することで、より多様な人材を惹きつける魅力あるまちづくりが求められる。



作成上のポイント

- 渋谷区では、分野ごとにフォーカスするのではなく、当該自治体が特に重要視している現状・課題の内容に焦点を当て、データ等を用いながらその状況について述べている

出典：『渋谷区人口ビジョン』(令和2年改定版) (渋谷区) (https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/kuse/r2_shibujinkouvision.pdf)、『令和2年度 渋谷区 区民意識調査』(渋谷区) (https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kuse/kotyo/kuminshikichosa_kikka.html)、『渋谷駅周辺地域都市再生安全確保計画』(渋谷区) (https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/com/000048181.pdf)、『渋谷区内の整備地域における不燃領域率と延焼遮断帯形成率の推移』(東京都都市整備局) (https://www.toshiseibu.metro.tokyo.lg.jp/bosai/pdf/bosai4_94.pdf)、『渋谷区産業・観光ビジョン』(渋谷区) (https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/com/000047966.pdf) を加工して作成

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(3) ポイント③基本方針 (1/2)

- 基本方針では、将来像（あるべき姿）や、目指す方向性（基本理念）、基本原則などについて整理します。
- 『スマートシティガイドブック』に掲載されている3つの基本理念、5つの基本原則を参考とすることができます。

静岡県浜松市の事例

1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
--------------	---------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------

Ⅲ 将来像／目指す方向性（基本理念）／必要な視点／基本原則

4



作成上のポイント

- 浜松市では、基本方針を、①将来像、②目指す方向性（基本理念）、③必要な視点、④基本原則、という階層構造で整理している
- 必要な視点に独自性があり、基本原則は、『スマートシティガイドブック』の5つの基本原則に近い内容となっている

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(3) ポイント③基本方針 (2/2)

- 基本方針では、将来像（あるべき姿）や、目指す方向性（基本理念）、基本原則などについて整理します。
- 『スマートシティガイドブック』に掲載されている3つの基本理念、5つの基本原則を参考とすることができます。

神奈川県鎌倉市の事例							
1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集

3 基本理念・基本原則

1 構想の概要	2 環境の変化	3 理念・原則	4 推進体制
5 リーディングプロジェクト	6 連携事業	7 住みやすさと幸福度	用語解説

8

誰もが生涯にわたって、自分らしく安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指し
次の理念と原則に従い、データやテクノロジーを活用した人にやさしいスマートシティの取組を推進します

基本理念

1 “市民起点“
市民ニーズや課題を起点に、人にやさしいデータやテクノロジーを課題解決の一つの手段として活用し、市民の生活の質の向上を目指す

2 “共生の精神“
市民力・地域力を活かし、自然をはじめまちに関わる全ての要素をつなげ、地域課題を解決し、まちの魅力を高める

3 “鎌倉らしさの継承“
古いものを大切にしながら、積極的に新しいものを取り入れ、新たな価値を築く

基本原則

1 公平性・包摂性
社会的影響
▼誰一人取り残さない共生社会を実現するために、デジタルデバイドの解消に取組み、希望する全ての市民*が等しく人にやさしいデータやテクノロジーに支えられたサービスを享受できるように努めます。
▼鎌倉の文化や歴史を踏まえたWell-Being*を可視化し、定量的な評価を基に取組を継続的に進化させます。

2 プライバシー
保護・透明性
▼個人情報*保護の関連法令を遵守し、透明性の高いルールと手続きに従い、本人同意に基づいてのみ個人情報取得、提供(オプトイン*)するなど、プライバシーの確保を徹底します。

3 相互運用性
・オープン性
▼地域やシステム、分野の壁を越えたデータやサービスの連携により相互運用性を確保し、サービスの全体最適化と新たな価値の創出を図ります。

4 安全・安心
・強靱性
▼激甚化する災害やCOVID-19等の感染症など予測困難な事態に直面した場合でも、最低限の都市機能や社会経済システムの継続性を維持しながら、早期に復旧できるレジリエント*な体制を確保します。

5 持続可能性
▼新たなサービスやソリューション*、事業の立ち上げにあたっては、社会実装を見据え受益者を意識した事業設計を行うことで、運用面・財政面の両側面から持続可能性を確保します。
▼生活様式の変化などをとらえ、地域に根差した新たなコミュニティ形成を進め、市民活動の活性化と持続可能なまちづくりを進めます。

6 対話・共創
・主体性
▼市民を中心に、産官学民のマルチステークホルダー*による主体的かつ能動的な対話と丁寧な合意形成を重視した取組を進めます。
▼合意形成にあたっては、データやテクノロジーの利活用に伴い発生するおそれのあるリスクや倫理的課題の明確化を徹底し、市民の理解と信頼に基づく運用に努めます。

作成上のポイント

- 鎌倉市では、基本方針を、目指すべき方向性を明示し、基本理念と基本方針を記載している
- 基本理念には独自性が見られ、“鎌倉らしさの継承”等が掲げられている
- 基本原則は、『スマートシティガイドブック』の5つの基本原則に近い内容となっている

出所：『鎌倉市スマートシティ構想』をもとに作成

39

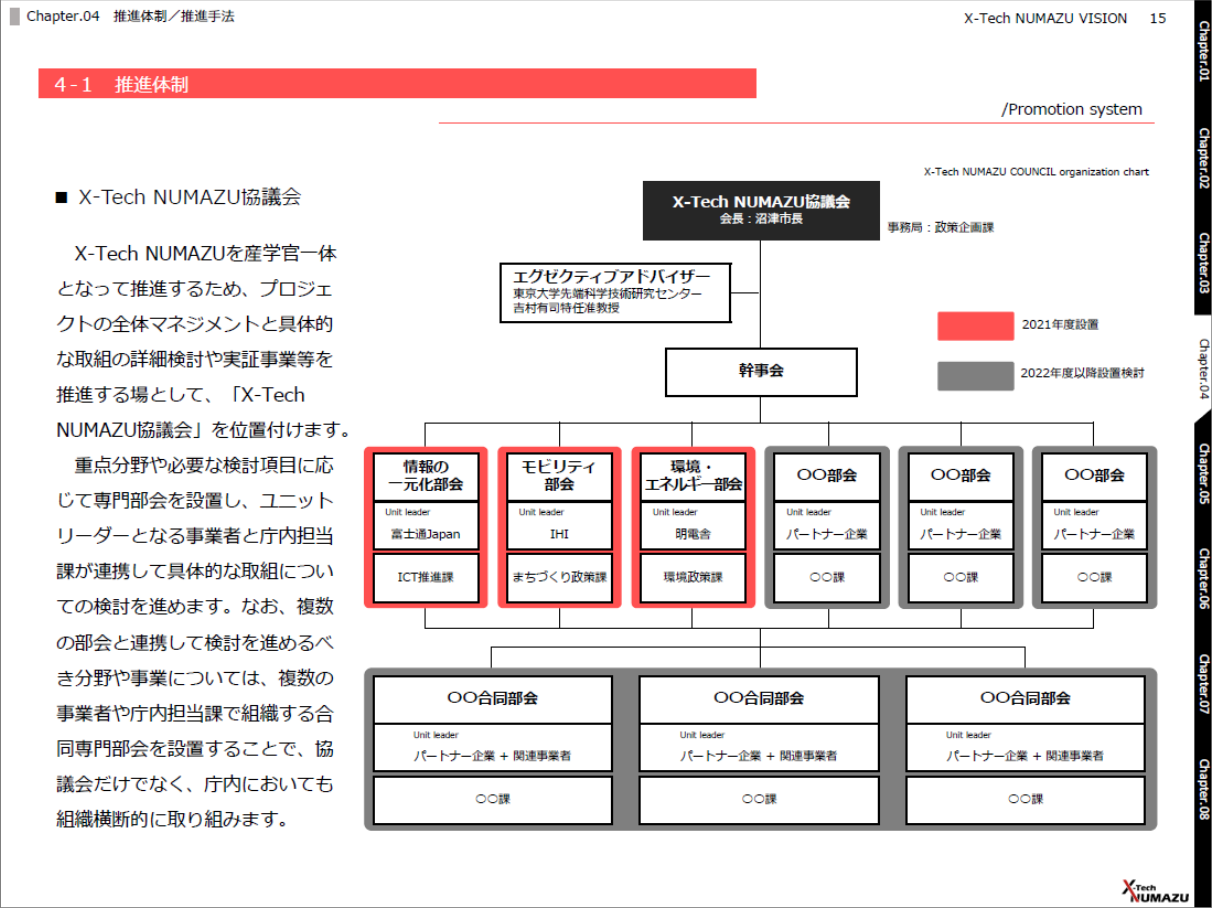
3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(4) ポイント④推進体制（1/2）

- 推進体制については、庁内外の利害関係者等との関係性・役割分担について記載します。
- 協議会等の推進主体を立ち上げる場合は、その体制について記載します。

静岡県沼津市の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------



作成上のポイント

- 沼津市では、「X-Tech NUMAZU協議会」を立ち上げており、その体制について記載している
- パートナー企業として連携している個別企業の名称を記載して、けん引役を明確にしている
- アドバイザーの存在や位置づけについても明記している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(4) ポイント④推進体制 (2/2)

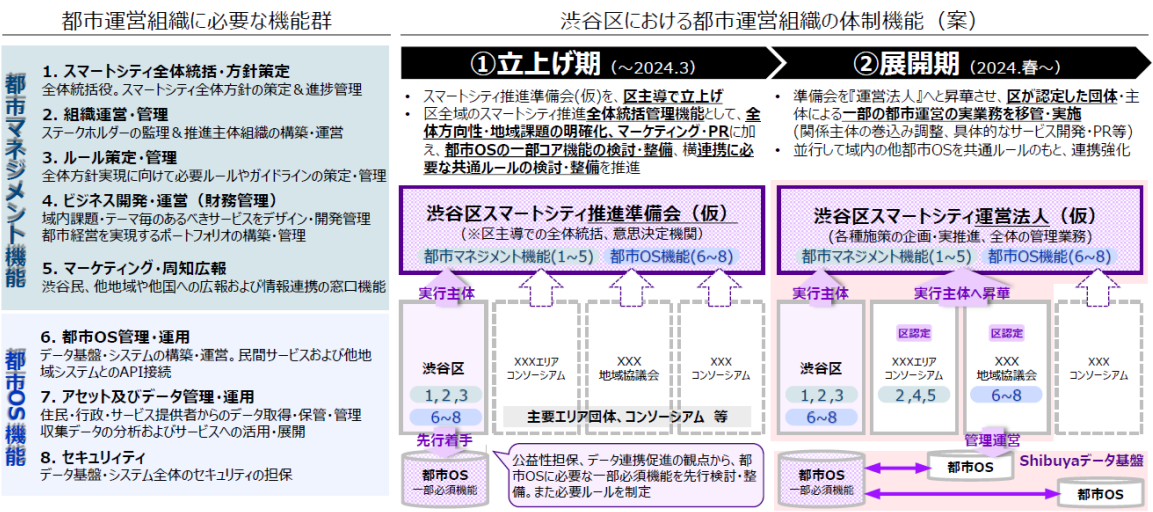
- 推進体制については、庁内外の利害関係者等との関係性・役割分担について記載します。
- 協議会等の推進主体を立ち上げる場合は、その体制について記載します。

東京都渋谷区の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策 (具体的な取組)	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	------------------	-----------	------------------------	--------

渋谷区におけるスマートシティ推進体制 (想定体制・機能分担案)

立上げ期においては、既存コミュニティや各エリアのコンソーシアム等スマートシティを推進する諸組織とは緩やかに連携し、渋谷区全体の都市OS・運営等の主機能は、区主導のスマートシティ推進準備会(仮)が担うことで区全体への浸透を図ります。展開期では各種機能の外部組織の委託等を行い、関係組織間の密な連携による産官学民一体のスマートシティ推進を目指します。



作成上のポイント

- 渋谷区では、立上げ期と展開期とに分けて、区における産官学民連携組織の体制案を明示している
- その中で、各主体がどのような役割を果たすかを明確にしている
- 都市OSが推進主体とどのような関わりを持つかを体制図上で示している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(5) ポイント⑤個別施策（具体的な取組）（1/2）

- 計画期間中に、分野ごとに具体的にどのような取組を行うかを記載します。
- 分野ごとの現状・課題と、これに対する対応策をセットで記載するケースも見られます。

千葉県千葉市の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------

千葉市スマートシティ推進ビジョン

4 取組みの方向性 1. 暮らしがスマート!

目指す姿

あらゆる市民が
場所や時間を問わないサービス、活発なコミュニケーションによって健康な生活、充実した生活を得られる

目指す姿の要素	方向性	取組例
場所や時間を問わないサービス	ニーズに対応したサービスの普及	■ 多様なサービスのオンライン提供（遠隔医療、子育て支援情報など） ■ シェアリングエコノミー（遊休地の利活用など） ■ キャッシュレス決済
活発なコミュニケーション	様々な個性を尊重しあう連携・協働の実現	■ 双方向コミュニケーションによる共助 ■ 地域情報のデジタル化・多言語化による共有
健康な生活	健康寿命の延伸	■ ヘルスケアデータ分析を活用した保健指導 ■ 運動量や生活習慣のデジタル化による健康の可視化
充実した生活	生きがいを持った生活	■ 個別に最適化された多様なサービスの提供

10

作成上のポイント

- 千葉市では、取組みの方向性を5つ明示し、そのそれぞれについて、目指す姿とその要素、要素ごとの方向性と取組例を明示している
- 具体的な内容は別途「千葉市スマートシティプロジェクト2022」にとりまとめ、毎年度更新することとしている

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(5) ポイント⑤個別施策（具体的な取組）（2/2）

- 計画期間中に、分野ごとに具体的にどのような取組を行うかを記載します。
- 分野ごとの現状・課題と、これに対する対応策をセットで記載するケースも見られます。

静岡県沼津市の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------

Chapter.07 重点分野の取組の方向性

X-Tech NUMAZU VISION 36

7-2 モビリティ

/Mobility

目指す姿

移動が快適で住みやすく訪れたいなるまち

問題・課題

【まちづくりの視点】

- 人口減少も見据えたコンパクト+ネットワークのまちづくりの推進のためには、公共交通の利便性を高めることが必要
- 中心市街地を車中心からヒト中心の空間へ転換し、暮らしやすく訪れて楽しいまちなかを形成することで、人の定住や来訪を促し、まちの活性化に繋げていくことが必要
- 時代の潮流として、自動車のEV化によるCO2排出削減が求められ、自動運転化が検討されている。

【利用者からの視点】

- 市民は日常生活において自家用車の依存度が高い。
- 3社のバス事業者のサービス連携・統一、タクシー、シェアサイクルを始めとする交通手段の乗り継ぎ連携など、住む人・訪れる人目線でのまちなかにおける交通サービスの向上が必要
- 自動運転の精度向上による交通事故の減少

取り組み

①モビリティデータプラットフォーム

まちなかにおけるシームレス*な移動の実現に向けて、バスやタクシーなどの運行状況やシェアサイクルの貸出状況など、移動手段に関する情報をわかりやすく、そして一元的に発信する仕組みを構築する。

②マイクロモビリティ*・スマートパーキング

まちなかにおける移動の円滑化に向けて新たな移動手段の導入を検討するとともに、駐車場を介した様々な交通手段との連携、駐車場の機能強化や集約などを検討する。

③自動運転プロジェクト

静岡県が実施する「しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト」の取組に、市街地における実証地として協力・連携しながら、公共交通において自動運転の実装化を目指す。

提供サービスとデータ連携図

①モビリティデータプラットフォーム

提供サービス: 市内イベント情報, 目的地までの効率的な手段・ルートの検索, 各種交通サービスの運行案内

データ連携: 市内イベント情報, 目的地までの効率的な手段・ルートの検索, 各種交通サービスの運行案内

②マイクロモビリティ・スマートパーキング

提供サービス: 空き駐車場の把握・誘導, 観光PR・観光施策, 駐車場を拠点とした移動手段の提供, 防災機能等の強化

データ連携: 駐車場利用データ, シェアサイクル・マイクロモビリティの配属, 駐車場への防災等の新たな機能付加

③自動運転プロジェクト

提供サービス: 自動運転による運送サービス

データ連携: 3D都市データ, 道路交通情報

作成上のポイント

- 沼津市では、スマートシティで取り組む分野を7つ明示し、それぞれについて、目指す姿、問題・課題、取り組みを記載している
- これとあわせて、提供サービスとデータ連携図を掲載し、具体的にどのような種類のデータが取得できるかを示している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(6) ポイント⑥ロードマップ (1/2)

- 計画期間中に、それぞれの取組をどのようなステップ、スケジュールで進めるのかを、ロードマップの形式で記載します。
- 大きな取組単位で作成するケースと、個々の取組（事業）単位で作成するケースが見られます。

千葉県千葉市の事例							
1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集

6 ロードマップ

スマートシティ推進のための主要なカテゴリーごとに発展させていくイメージを、市民生活に浸透し一般化している状態を想定して示します。

	現 状	5年後	10年後
サービス創出	分野ごとの課題解決・価値創造サービスの検討・創出	分野横断による課題解決・価値創造サービスの検討・創出	課題解決・価値創造サービスの横展開・全市展開
テクノロジー実証	先行エリアにおける実証（自動運転・ドローン等）	先行エリアにおける実装 他エリアにおける実証・実装	実装事例の横展開・全市展開
データ連携	サービスごとのデータ利活用 オープンデータの利活用 データ連携基盤(都市OS)の検討	サービス間のデータ連携 民間データ利活用・官民データ連携 データ連携基盤(都市OS)の整備	データ連携基盤(都市OS)によるエリア間・自治体間のデータ利活用・連携
市民参加	市民対話会やパブリックコメント、地域の代表者による会合等	デジタル活用による参加機会の拡大 参加世代の多様化によるコミュニケーションの活性化	行政と地域との双方向のコミュニケーションによるまちづくりを実現

20年後のイメージ

みんなでつくる「快・適」なまち！の実現

- ・バーチャル空間とデータを活用によるリアルタイム課題解決、将来予測の実現
- ・課題解決・価値創造サービスの自治体間の連携
- ・あらゆる市民がつながり、市民主体のまちづくりの実現



千葉市スマートシティ推進ビジョン

作成上のポイント

- 千葉市では、20年度を見据えて計画を作成しており、5年後、10年度、20年度という大きな時間軸の中で、主要なカテゴリーごとの取組の方向性を明示している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(6) ポイント⑥ロードマップ (2/2)

- 計画期間中に、それぞれの取組をどのようなステップ、スケジュールで進めるのかを、ロードマップの形式で記載します。
- 大きな取組単位で作成するケースと、個々の取組（事業）単位で作成するケースが見られます。

静岡県沼津市の事例							
1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集



作成上のポイント

- 沼津市では、分野ごとの個々の取組（事業）の単位で、今後5年間程度のロードマップを作成している
- 直近年度については、上期と下期に分けて、より精緻なスケジュールとしている

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(7) ポイント⑦情報セキュリティ・個人情報保護の考え方（1/2）

- スマートシティ推進にあたり市民等の関心の高い、情報セキュリティや個人情報保護の考え方について明示します。
- 参照すべきガイドライン等の内容を踏まえつつ、整備しているルールやポリシー等を示すとともに、今後の取組方針について記載します。

石川県加賀市の事例

1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
--------------	---------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------

第8章

スマートシティ加賀 セキュリティの取組

■ 施策の方向性

- サイバー攻撃のリスクに備え、スマートシティのセキュリティ、安全性、信頼性及び強靱性を確保するための具体的なセキュリティ施策を実施します。
- データの真正性確保や適切なデータ流通管理のための仕組みの構築を進めます。

■ セキュリティ関連施策の4つの枠組み

- スマートシティセキュリティガイドライン(2020年10月 総務省)に基づき、スマートシティの「ガバナンス」「サービス」「都市OS」「アセット」の4つの側面からセキュリティ施策を展開します

スマートシティリファレンスアーキテクチャで定義すべきは、

1. スマートシティ戦略・政策
スマートシティの理念、目標、KGI、KPI

2. スマートシティルール
スマートシティ関連法令、ガイドライン、規制緩和、特区活用

3. スマートシティ組織
スマートシティ推進主体、サービス提供者、サービス受託者

4. スマートシティビジネス
スマートシティビジネスモデル、体験デザイン、サービス

5. スマートシティ機能
サービスAPI、サービス連携、都市OS連携

6. スマートシティデータ
データ管理、データ開示、データセット、データ活用

7. スマートシティデータ連携
外部システム連携、クラウド連携、アセット管理

8. スマートシティアセット
センサ、アプリケーション、ネットワーク

スマートシティセキュリティの4つの側面

ガバナンス

サービス

都市OS

アセット

ガバナンス

サービス

都市OS

アセット

セキュリティ対策実施のための体制の構築

スマートシティ加賀セキュリティポリシー策定

スマートシティ加賀データ管理ポリシー策定

SOC/CSIRT組織の構築

情報処理安全確保支援士等セキュリティ人材の確保

スマートシティ加賀に実装するサービスに求めるセキュリティ要件の検討

スマートシティ加賀に実装するサービスのPIAの実施

スマートシティ加賀に実装するサービスのセキュリティレベルの定期的評価

インターネットを経由する外部との通信の暗号化

アクセスログ等の証拠の保存

外部からの通信の適切なアクセス制御

都市OS保守・運用者によるアクセスへの多要素認証の導入

システム・機器監視システムの導入

個人情報等重要情報の暗号化保存

定期的な脆弱性調査

センサー等調達における選定基準の策定

機器の物理的保護方法の検討・徹底

インターネットを経由する外部との通信の暗号化

機器ファームウェア・ソフトウェアバージョンの最新状態保持

socによるアセットのセキュリティ監視

(出所) スマートシティセキュリティガイドライン(第1.0版)

20

作成上のポイント

- 加賀市では、スマートシティリファレンスアーキテクチャ、スマートシティセキュリティガイドラインに基づき、①ガバナンス、②サービス、③都市OS、④アセットの4つのカテゴリごとに、セキュリティ確保のための取組内容を記載している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(7) ポイント⑦情報セキュリティ・個人情報保護の考え方 (2/2)

- スマートシティ推進にあたり市民等の関心の高い、情報セキュリティや個人情報保護の考え方について明示します。
- 参照すべきガイドライン等の内容を踏まえつつ、整備しているルールやポリシー等を示すとともに、今後の取組方針について記載します。

静岡県沼津市の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策 (具体的な取組)	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	------------------	-----------	------------------------	--------

Chapter.08 資料 X-Tech NUMAZU VISION 52

■ 個人情報の適切な取り扱い及び情報セキュリティ

X-Tech NUMAZUは、地域課題の解決や市民の利便性及び生活の質の向上を図ることを目標としてスマートシティサービスの提供に取り組みます。そのため、サービスの提供にあたっては、行政が保有するデータだけではなく、民間事業者が保有する経済活動等に関するデータや個人に関わる固有データなど、多種多様なデータを活用することが見込まれます。

- データの活用には、サービスの提供に関わるすべての者が、個人情報保護関連法令・例規等を遵守し、個人の権利及び利益を侵害することのないよう適正に取り扱います。
- 個人情報を取り扱う範囲は必要最小限のものとします。
- 個人情報を活用するスマートシティサービスの提供にあたっては、本人の同意確認を行います。
- 本人の同意がある場合又は法令等に基づく場合を除くほか、個人情報の目的外利用は行いません。
- 沼津市情報セキュリティポリシー（「沼津市情報セキュリティ」(2005年4月運用開始)及び「沼津市情報セキュリティ対策基準」（非公開）の総称）に基づき、情報セキュリティ対策の実効性を高め、情報セキュリティレベルの維持に努めます。
- 「スマートシティセキュリティガイドライン（第2.0版）」（2021年6月総務省）に基づき、スマートシティセキュリティのカテゴリごとに、具体的なセキュリティ対策を実施します。

1.スマートシティ戦略・政策 スマートシティの理念・目標・KGI・KPI	9 スマートシティセキュリティ 認証機能、不正アクセス、サイバー攻撃対策	スマートシティセキュリティのカテゴリ
2.スマートシティルール スマートシティ関連法令、ガイドライン、規制緩和、特区活用		
3.スマートシティ組織 スマートシティ推進主体、サービス提供者、サービス受給者		
4.スマートシティビジネス スマートシティビジネスモデル、体験デザイン、サービス		
5.スマートシティ機能 サービスAPI、サービス管理、都市OS関連連携		
6.スマートシティデータ データ管理、データ仲介、データセット、データカタログ		
7.スマートシティデータ連携 外部システム連携、アセット連携、アセット管理		
8.スマートシティアセット センサー、アクチュエーター、ネットワーク		

スマートシティ

ガバナンス

サービス

都市OS

アセット

データ連携

マルチステークホルダー

単体のスマートシティに着目したセキュリティ検討

スマートシティリファレンスアーキテクチャを踏まえたカテゴリの分類

出典：スマートシティセキュリティガイドライン（第2.0版）
<https://www.soumu.go.jp>（総務省ホームページ）

X-Tech NUMAZU

作成上のポイント

- 沼津市では、スマートシティ推進に当たっての個人情報の適切な取り扱い及び情報セキュリティについてのスタンスを明示している
- 浜松市と同様の4つのカテゴリごとに具体的なセキュリティ対策を実施することについて言及している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(8) ポイント⑧用語集 (1/2)

- 市民等に対して計画の内容が分かりやすく伝わるよう、用語集を作成します（または、脚注で説明を付します）。
- 本文中で用語が使用された場合、※等を付すことで、用語集との対応関係を明らかにします。

静岡県浜松市の事例

1. 策定の趣旨・位置づけ	2. (XX市の) 現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集
---------------	-----------------	---------	---------	-----------------	-----------	------------------------	--------

VI 用語の説明 (1/2) ※本構想で使用しているケースでの意味を説明しています。

14



※1 スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市	内閣府が経済面や技術面など様々な支援を行うことで世界と同等に戦える日本企業の創出を目指し、全国で4地域を選定
※2 サテライトオフィス	企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。
※3 ユネスコ創造都市 (音楽分野)	文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化の分野において世界でも特色ある都市を認定する事業として、2004年にユネスコ創造都市ネットワークが創設された。浜松市は、2014年12月に音楽分野での加盟が認定された。
※4 デジタル・マーケティング	インターネットやIT技術など「デジタル」を活用したマーケティング手法のこと。 ビッグデータ技術やAIなどを活用して顧客の嗜好や行動を分析し、隠れたニーズやトレンドまでを考慮して行われる。
※5 関係人口	特定の地域と多様に関わる人々のこと。
※6 テレワーク	情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。
※7 テレワークパーク構想	車や駐車場を活用することでより良いテレワーク環境をつくり、浜松市をあげてテレワークを促進していくために「浜松テレワークパーク実現委員会」により発案された構想。
※8 ギガ GIGAスクール構想	文部科学省が提唱する構想。一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、子供の資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するとしている。
※9 マス MaaS	「Mobility as a Service」の略。複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済を一括で行うサービス。 観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となる。
※10 フードデリバリープラット フォーム	飲食のデリバリー、テイクアウトにおいて発注・決済から配達依頼、配送までを一元管理する仕組み。 浜松市内ではFoodelixというプラットフォームが構築されている。
※11 アクセシビリティ	【accessibility】近付きやすさ、利用しやすさ、などの意味を持つ英単語で、ITの分野では機器やソフトウェア、システム、情報などが身体の状態や能力の違いによらず様々な人から同じように利用できる状態やその度合いのことを指す。
※12 エスエヌエス SNS	「Social Networking Service」の略。人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供するオンラインサービス。

作成上のポイント

- 浜松市では、用語集を一般的な用語の定義にとどめるのではなく、市の取組等と関連付けて説明することで、その内容がより分かりやすくなるよう工夫している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(8) ポイント⑧用語集 (2/2)

- 市民等に対して計画の内容が分かりやすく伝わるよう、用語集を作成します（または、脚注で説明を付します）。
- 本文中で用語が使用された場合、※等を付すことで、用語集との対応関係を明らかにします。

静岡県沼津市の事例							
1.策定の趣旨・位置づけ	2.（XX市の）現状・課題	3. 基本方針	4. 推進体制	5. 個別施策（具体的な取組）	6. ロードマップ	7. 情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	8. 用語集

Chapter.08 資料		X-Tech NUMAZU VISION 56	
■ 用語の解説（本文中※の付いた用語）			
あ い う さ ば り	アジャイル	「すばやい」「俊敏な」という意味で、反復（イテレーション）と呼ばれる短い開発期間単位を採用することで、リスクを最小化しようとする開発手法の一つ。	
	ウォーカブル	歩く（walk）＋できる（able）を合わせた言葉。「歩きやすい」「歩くことが楽しい」こと。	
	カーボンフリー	使用するすべてのエネルギーを再生可能エネルギーなどの二酸化炭素を排出しないエネルギー源に置き換え、二酸化炭素を全く排出しないこと。	
	ガイドライン	政策や施策の「指針」「指標」を示すもの。	
	クリーンエネルギー	二酸化炭素や窒素酸化物などの有害物質を排出しない、または排出量の少ないエネルギー源のこと。	
	クリエイティビティ	新しいものを生み出す「創造力」や、独自の発想で何かを作り出す「独創力」のこと。	
	再生可能エネルギー	太陽光、風力、地熱といった地球資源の一部など、自然界に常に存在するエネルギーのこと。「枯渇しない」「CO2を排出しない（増加させない）」「どこにでも存在する」の3つが大きな特徴として挙げられる。	
	サステナブル	持続する（sustain）＋できる（able）を合わせた言葉。「持続可能な」「ずっと続けていける」ということ。	
	シームレス	「継ぎ目のない」という意味で、複数のサービス間の障壁を取り除き、容易に複数のサービスを利用することができるようにすること。	
	シビックプライド	シビック（市民の、都市の）＋プライド（誇り）を合わせた言葉。まちへの思いだけにとどまらず、その都市の課題解決や活性化といった、具体的な行動に取り組む姿勢も含んでいる。	
	人生100年時代	寿命が100歳前後まで伸びていくにあたって、若者から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられ、安心して暮らすことができる社会の実現が求められる時代のこと。	
	ステークホルダー	企業・行政・NPO等が行う活動に直接・間接的な利害関係を有する者。利害関係者。	
	スマートシティ	IoT（Internet of Things：モノのインターネット）の先端技術を用いて、基礎インフラと生活インフラ・サービスを効率的に管理・運営し、環境に配慮しながら人々の生活の質を高め、継続的な経済発展を目的とした新しい都市のこと。	
	スマート農業	ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化や精密化などを進めた次世代農業のこと。	
	スモールスタート	最初は機能やサービスを限定するなど小規模に展開し、需要の増大などに応じて順次規模を拡大させていくこと。	

作成上のポイント

- 沼津市では、用語集を五十音順で整理しており、辞書的に活用できるよう工夫している
- カタカナ用語について、本来の語の意味を説明することで、理解が深まるよう工夫している

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(9) まとめ

- 他自治体のスマートシティ計画(戦略)を参考にしつつ、自地域の現状・課題を踏まえ、分かりやすい内容とすることを心がけましょう。
- スマートシティガイドブックやスマートシティリファレンスアーキテクチャなどを活用し、基礎をしっかり押さえましょう。

スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント		
構成イメージ		作成上のポイント
1	策定の趣旨・位置づけ	✓ スマートシティ計画（戦略）の策定に至った背景や狙い、計画の位置づけ（総合計画等との関係）等について記載する
2	(XX市の) 現状・課題	✓ 個々の自治体の状況を踏まえ、スマートシティに取り組む背景・趣旨や、計画(戦略)と総合計画等との関係を明確にする
3	基本方針	✓ スマートシティの取組が求められる理由が明らかになるよう、地域特有の現状や課題を整理する
4	推進体制	✓ 「スマートシティガイドブック」等を参考に、将来像や目指す方向性(基本理念)、基本原則などについて分かりやすく整理する
5	個別施策（具体的な取組）	✓ 庁内外の利害関係者との関係性や役割分担、推進主体を立ち上げる場合はその体制等を明確にする
6	ロードマップ	✓ 計画期間中に具体的にどのような取組を行うのかについて、取組の効用と合わせて分かりやすく整理する
7	情報セキュリティ・個人情報保護の考え方	✓ スマートシティの取組を今後段階的にどのように進めていくのかについて、合意形成できた範囲でできるだけ具体的に記載する
8	用語集	✓ 市民等に対し説明責任を果たし、安心感を与える観点から、できるだけ分かりやすい表現で情報保護の考え方等を整理する
		✓ カタカナ言葉が多いことに留意し、できる限り分かりやすい表現に努めるとともに、用語集を作成して説明の補完を図る

スマートシティ計画(戦略)策定にあたっては、「スマートシティガイドブック」「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」を参照ください

3.スマートシティ計画(戦略)作成上のポイント

(参考) 事例リンク集

#	自治体名	資料名称	リンク
1	千葉県千葉市	千葉市スマートシティ推進ビジョン	ここをクリック
2	静岡県沼津市	X-Tech NUMAZU VISION	ここをクリック
3	静岡県浜松市	浜松市デジタル・スマートシティ構想	ここをクリック
4	石川県加賀市	スマートシティ加賀推進計画	ここをクリック
5	東京都渋谷区	渋谷区 スマートシティ推進基本方針	ここをクリック
6	神奈川県鎌倉市	鎌倉市スマートシティ構想	ここをクリック

次回予告

計画策定セミナーの概要（再掲）

- 令和4年度のスマートシティ官民連携プラットフォーム オンラインセミナーの第1回と第2回では、スマートシティの進め方やスマートシティの計画（戦略）策定についてご紹介する計画策定セミナーを実施します。
- 第1回目は、概要編として、スマートシティの進め方の全体像や、スマートシティ計画（戦略）の策定段階における取組について概説します。
- 第2回目は、事例編として、スマートシティ計画（戦略）策定済みの自治体担当者をお招きし、事例紹介等を行っていただく予定です。

計画策定セミナーのプログラム案（再掲）

回	プログラム	内容
第1回： 計画策定セミナー① （概要編）	1. スマートシティの進め方	✓ スマートシティガイドブックの内容を踏まえ、スマートシティの進め方の全体像と、「計画（戦略）策定段階」の取組内容について概説する
	2. スマートシティ計画（戦略）とは	✓ スマートシティ計画（戦略）とはどのようなものであるか、作成事例を紹介しつつ、その内容等について概説する
	3. スマートシティ計画（戦略）作成上のポイント	✓ スマートシティ計画（戦略）に掲載されることの多い項目について、その内容イメージや、検討にあたってのポイント等について概説する
第2回： 計画策定セミナー② （事例編）	1. 概要編の振り返り	✓ 概要編を簡単に振り返り、続く「2.スマートシティ計画（戦略）の策定事例」の導入を行う
	2. スマートシティ計画（戦略）の策定事例	✓ すでにスマートシティ計画（戦略）を策定している自治体担当者（2-3団体を想定）に登壇いただき、計画（戦略）の概要や策定にあたっての工夫点・苦労点等について説明いただく ✓ 事例紹介後、パネルディスカッション形式でより実務的な内容について話題を共有する

5 質疑応答

事前に受け付けた質疑応答一覧

#	質問事項
1	地域の学校教育（高校、中学校、小学校）との連携を模索する場合、その窓口はどこになるのか、教えてください
2	スマートシティはデジタル田園都市国家構想の中では地域ビジョンの一つとの位置づけとのことですが、双方の政府の取組みの違いを教えてください
3	スマートシティ関連の国の財政支援があれば教えてください
4	MaaSに関して、携帯電話市場のようにガラパゴス化しないよう、グローバル・スタンダードのビジネスに貢献したいと考えています。積極的に国の政策に参画する機会があれば教えてください
5	住民への公表の方法として「市のHPからプラトーへリンクし、プラトーで見て動かしてもらう。」ということは可能でしょうか。また、可能である場合、システム上の制約はあるか教えてください

⑥ 事務局からのお知らせ

相談窓口を設置しました

- 会員・オブザーバー様を対象とした、スマートシティの取り組みに関する相談窓口を設置しました。皆さまの積極的な活用をお待ちしております。

スマートシティ
官民連携
プラットフォーム

ホーム 官民連携プラットフォームとは 活動記録 スマートシティプロジェクト スマートシティの取り組み 会員募集 相談窓口 EN



相談窓口

会員・オブザーバー限定で相談窓口を開設しました。

取組の推進や官民マッチングでお悩みのある会員・オブザーバー様は、下記の入力フォームよりお気軽にご連絡ください。
※2022年8月末までをトライアル期間として設置中です。

会員・オブザーバー専用
相談窓口

ホームページのレイアウトを一部リニューアルしました

- 「スマートシティの取組み」のページにおいて、**会員・オブザーバーの取組動画の掲載レイアウトをリニューアル**いたしました。
新たに動画掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

会員・オブザーバーの取組に関する動画

— 動画一覧

リセットC

取組概要:

 交通・モビリティ

 エネルギー

 防災

 インフラ維持管理

 観光・地域活性化

 健康・医療

 農林水産業

 環境

 セキュリティ・見守り

 物流

 都市計画・整備



 映像×エッジAI技術を活用したスマートシティ関連サービスのご紹介
ニューラルポケット株式会社



 3D制作プラットフォーム「Unreal Engine」
株式会社理経



 SNS・AIを活用した「FASTALERT」による防災DXの実現
株式会社JX通信社



 自営通信メッシュ網(LPWA)を構成するSkeedOzの活用事例
株式会社Skeed



 Axisのスマートシティソリューション
アクシスコミュニケーションズ株式会社



 協調型自動走行とサービス実験(移動サイネージ、物搬送)
名古屋大学



 5Gを活用したドローン&AGVによるスマート物流のご紹介
京セラ株式会社



 5Gを活用したドローン&AGVによるスマート点検のご紹介
京セラ株式会社

7 閉会

ご参加いただきありがとうございました

アンケートのご協力をお願いします

QRコード



URL

<https://forms.office.com/r/ACTWDs4Srw>